

監督・脚本: アキ・カウリスマキ (「ル・アール」の執みがき)

出演: シェルワン・ハジ、サカリ・クオスマネン

2017年/フィンランド/98分/DCP.35MM/1:1.85/カラー/ドルビーSRD/英語題: THE OTHER SIDE OF HOPE / 原題: TOIVON TUOLLA PUOLEN / 日本語字幕: 石田泰子 / 配給: ユーロスペース / 提供: ユーロスペース、松竹  
PRODUCTION SPUTNIK OY WITH BUFO, THE FINNISH FILM FOUNDATION, YLE COPRODUCTIONS, PANDORA FILM, ZDF/ARTE, FINLAND 100 PROGRAMME AND THE CHURCH MEDIA FOUNDATION

SPUTNIK OY BUFO PANDORA FILM YLE Suomi Finland 100 ZDF ARTE KVIS

SPUTNIK PRESENTS

# 希望のかなた

THE  
OTHER SIDE  
OF  
HOPE

みんな  
で、  
救う。



A FILM BY AKI KAURISMÄKI

# TOIVON TUOLLA PUOLEN



# ヘルシンキの片隅に、みんなで救った希望がとる。

2017年ベルリン国際映画祭 銀熊賞(監督賞)

2017年国際批評家連盟賞 年間グランプリ

2017年ダブリン国際映画祭 ダブリン映画批評家協会賞、最優秀男優賞

2017年ミュンヘン映画祭 平和のためのドイツ映画賞・ブリッジ監督賞



THE  
OTHER SIDE  
OF  
HOPE

生き別れた妹を見つけない。

そのひたむきな願いを叶えるのは、名もなき人々のちいさなやさしさ。



シリア難民の青年カーリドは、北欧フィンランドの首都ヘルシンキに流れつく。彼の願いは“いい人々のいい国”だと聞いたここフィンランドで、生き別れた妹を見つけて暮らすこと。しかし難民申請は却下され、街中では理不尽な差別と暴力にさらされてしまう。そんな彼にしがいないレストランオーナーのヴィクトロムは救いの手をさしのべ、自身のレストラン“ゴールデン・パイント”にカーリドを雇い入れる。世間からすこしはみ出たようなゴールデン・パイントの店員たちもカーリドを受け入れはじめた頃、彼のもとに妹が見つかったという知らせが入るのだった…。

誰かを受け入れるとき、そこには希望が生まれる。

名匠アキ・カウリスマキのやさしさ溢れる新たな傑作。



2017年のベルリン国際映画祭で観る者すべての胸に深い余韻を残し、見事銀熊賞(監督賞)を受賞した『希望のかた』。前作『ル・アーヴルの靴みがき』に続く“難民3部作”の2作目にあたる本作で、カウリスマキ監督は“受け入れて、助けあう”という世界が忘れかけている当たり前の人間性を、ユーモアと無償のやさしさをもって描きました。カウリスマキ映画ではおなじみの、社会の片隅でつましやかに生きる、少しばかり孤独をかかえた人々のちいさなやさしさが、一人の青年の願いを叶え、魂を救うのです。誰かを受け入れるとき、そこには希望が生まれる。そんなカウリスマキからのメッセージは、不寛容がはびこる世界に生きる私たちの、心のより所となることでしょう。

主演のシリア人俳優セルワン・ハジを迎え入れたのは、サカリ・クオスマネンをはじめとする個性的なカウリスマキ組の常連たちと、カウリスマキの愛犬ヴァルプ。物語に絶妙にシンクロするフィンランドのベテランミュージシャンによる演奏シーンの数々や、痛烈な“わびげネタ”も必見です。

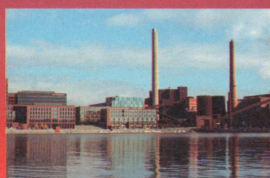
監督・脚本:アキ・カウリスマキ / 出演:セルワン・ハジ, サカリ・クオスマネン

2017年 / フィンランド / 96分 / フィンランド語・英語・アラビア語 / DCP・35MM / カラー / 原語: TOIVON TUOLLA PUOLEN / 英語題: THE OTHER SIDE OF HOPE / 字幕翻訳: 石田幸子

提供: ユーロスペース、松竹 / 配給: ユーロスペース / 宣伝: テレサ /

後援: フィンランド大使館 / 協力: 国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) 駐日事務所、特定非営利活動法人 国連 UNHCR 協会 / 推薦: カトリック中央協議会広域

kibou-film.com



イオンシネマ多摩センター

テレホンサービス 042-355-8700

<http://www.aeoncinema.com/>